

ヨコハマ・カナガワ 留学生就職促進 プログラム事業報告書

平成 29 年度
～
令和 3 年度



ヨコハマ・カナガワ
留学生就職促進プログラム



横浜国立大学



横浜市立大学

学長ごあいさつ



横浜国立大学 学長
梅原 出

平成29年から、横浜市立大学と横浜国立大学が、神奈川県、横浜市と連携し、文部科学省委託事業「ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム」を5年間実施してきました。参画団体が増えておりますこと、また、横浜市内での活動を推進できた実績に基づき、神奈川県域に事業を拡大することができましたこと、県内の大学、自治体、経済団体、企業の皆様のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

留学生の就職を推進していく上で、大学におきましては、留学生の日本語力の向上とともに、ビジネスマナーなどの素養を身に着けるといった就職に向けた準備力を高め、しかも、手遅れにならないよう、早期に準備を開始させる必要があります。一方で、大学での対応だけでは留学生の雇用を増やすことは難しく、企業の皆様に留学生採用を前向きにご検討いただけるよう環境整備の後押しも必要ではないかと考え、異文化理解や職場でのコミュニケーションをテーマにセミナーなどを開催してきました。このような企業様へのアプローチは、経済団体のお力添えをいただくと効果的ですが、経済団体や企業と大学とを結びつける上で、神奈川県、横浜市といった自治体の役割がこれまで大いに発揮されてきました。さらに、経済団体、自治体、大学のみならず、国際交流団体や市民、地元金融機関のシンクタンクとの連携を進め、産官学民連携により事業を推進できましたことも、たいへん心強い実施体制であったと感謝申し上げます。

神奈川県、横浜市をはじめとする自治体との連携が特徴的な本プログラムですが、文部科学省委託事業としてのプログラム終了後も、自治体、経済団体等、多様な関係者と緊密に連携し、「かながわ留学生就職促進プログラム」として、留学生の就職支援を行っていく所存です。

日本での就職を希望する留学生が、一人でも多く希望をかなえることができますよう、引き続きのご協力をお願いいたします。



横浜市立大学 学長
相原 道子

平成29年度文部科学省委託事業として、横浜国立大学、神奈川県、横浜市と共同で進めて参りました『ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム』も今年度で5年の事業期間を終えることとなりました。

事業開始前は、本学でも日本での就職を希望する外国人留学生が多数在籍していたにも関わらず、日本特有の就職活動やビジネスで要求される日本語力の高い壁に阻まれ、希望が叶わずに母国へ帰国する留学生が少なからずおりました。しかしながら一方では、地元横浜市や神奈川県内には、留学生の採用意欲の高い企業様が多くおられ、留学生とこれらの企業様との間を取り持つ効果的なマッチングがままならない状況が続いておりました。

このような環境のもと、本学単独で留学生の就活支援を充実させることが難しいことから、横浜国立大学と連携しビジネス日本語やキャリア教育講座を新設し、自治体、経済団体、企業の皆様のご協力を得て、インターンシップ先の開拓・実施を行うことができました。プログラム開始以来、インターンシップへの参加者数は180名以上となり、日本語やキャリア教育講座等に参加した延べ人数は3千人を超えます。多くの留学生の参加を得て、将来の高度外国人材の採用と育成に向けた横浜モデルの確立、県域展開、産官学連携ネットワークの強化、といった成果をあげることができました。

このような結果を残すことができたのも、関係者の皆様のご支援の賜物です。この5年間、ご支援・ご協力いただきました企業様、自治体様、各団体の皆様に、厚く御礼申し上げます。

本事業で得られた知見、ノウハウを一層活用し、来年度以降もさらに外国人留学生の就職支援に注力して参りますので、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和4年度からの後継プログラム

『かながわ留学生就職促進プログラム』について

平成29年度に文部科学省委託事業として採択された『ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム』は、令和3年度を以って5年間の事業期間を終了します。これまで神奈川県や横浜市、各経済団体、企業、市民団体等皆さまと共に培ってきた留学生の就職支援のノウハウを活かし、令和4年度からは名称もあらたに『かながわ留学生就職促進プログラム』として、より一層の事業の充実を図っていくこととなりました。今後も引き続き、多くの日本企業で求められる高い日本語力を有する高度外国人材(大卒程度の学歴で専門的な技術や知識を持つ外国人)の輩出に資する「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」の各プログラムを企画・実施し、日本で就職したいという留学生の希望の実現に貢献して参ります。

留学生就職促進プログラムとは？

INTERNATIONAL STUDENT CAREER DEVELOPMENT PROGRAM

大学が地域の自治体や産業界と連携し、外国人留学生の日本国内での就職率を引き上げることを目的とした事業です。就職に必要なスキルである「ビジネス日本語」「キャリア教育」「インターンシップ」を一体として学ぶプログラムを提供し、日本企業で活躍する高度人材の育成を行いました。

『ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム』は文部科学省委託事業として、横浜国立大学、横浜市立大学、神奈川県、横浜市、経済団体、企業、市民団体とのパートナーシップにより、平成29年度からプログラムを実施しました。



横浜国立大学 × 横浜市立大学

● 日本語教育 ● キャリア教育 ● インターンシップ

協力大学：神奈川大学・関東学院大学
女子美術大学・専修大学・東京都市大学

コーディネーターを中心に プログラムを推進

横浜国立大学と横浜市立大学の
専任コーディネーターが
留学生と大学、企業、自治体、関連団体
との橋渡しをきめ細かく行います。



横浜市

(政策局、経済局、国際局など)
市内の地域や企業に働き
かけ、事業を全面的にバックアップ。



神奈川県

県内の関係団体などへの働きかけや、県が行う留学生支援の取組みと連携。

国際交流団体 / 自治体 / 経済団体・企業

留学生への教育・サポート

留学生

関係諸機関・企業との連携

日本語教育

BUSINESS JAPANESE LANGUAGE PROGRAM

留学生の語学能力に応じて、日本の企業に就職するに当たって重要となる日本語能力試験1級(N1)相当へのステップ・アップが可能な体制を構築しました。正課での日本語科目の受講が困難な留学生向けには、授業のない日を活用し、グループワークで実施するビジネス日本語集中講義を開講しました。更には、地域定住外国人向けの日本語教育に実績のある学外NPO等と連携し、土日にビジネス日本語講座も実施しました。

キャリア教育

CAREER EDUCATION PROGRAM

キャリア教育のプログラムでは、日本の企業文化や雇用慣習、日本人と一緒に仕事を進める上で必要になるコミュニケーションなどを正課科目、正課外科目を通して学びました。神奈川県内の企業を見学し、様々な仕事に就く社会人の方と交流する中で、自分はどうのようなキャリア(人生)を築きたいのか考える機会としています。留学生はこのプログラムを学習することにより、日本企業の採用・人材育成システムについて理解を深め、日本での就職活動にあたって必要な知識とスキルを身につけることができました。

インターンシップ

INTERNSHIP PROGRAM

留学生が日本での就職を希望する場合、就職後のミスマッチを防ぐ上でインターンシップは重要な役割を果たします。企業にとっても、留学生採用後の受入れ環境整備を検討する有効な機会となります。このプログラムでは、経済団体・企業の留学生採用の理解促進を自治体为主导し、インターンシップ受入れの協力や支援活動に結びつけました。また、大学は学生のキャリア志向に合わせた企業とのインターンシッププログラムの開発・調整を行い、事前・事後学習を含めた学生の個別フォローに注力しました。

参画団体

経済団体

神奈川産業振興センター、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、神奈川県経営者協会、神奈川ニュービジネス協議会、横浜商工会議所、横浜市工業会連合会、横浜企業経営支援財団(IDEC)

民間企業・交流団体

浜銀総合研究所、横浜市国際交流協会・横浜市国際学生会館、日本貿易振興機構(JETRO)横浜貿易情報センター

日本語教育プログラム

Japanese Language Program

プログラム 開始前

- 正課科目として日本語科目の開講
- 横浜国立大学** レベル別日本語科目の開講
- 横浜国立大学** ビジネス日本語科目の開講

プログラム 実施後

- 日本語講師による集中講座
- NPO 法人楽しい日本語の会との連携授業
- 神奈川県国際文化観光局主催講座への参加
- 日本語学校との連携講座
- ビジネス日本語オンライン学習教材開発
- 横浜国立大学** プログラム開放正課科目設置
- 横浜国立大学** 専任日本語教員の着任
- 横浜国立大学** レベル別日本語科目の新規開講
- 横浜国立大学** ビジネス日本語科目の新規開講

これまでに実施した講座等

平成30年	3月	春季特別集中講義「就活のためのビジネス日本語」
	9月	夏季特別集中講座「日本事情 日本で働く」
平成31年 令和元年	2月	楽しい日本語の会連携授業 「日本の職場でのコミュニケーションの課題を改善する」
	7月	楽しい日本語の会連携授業「グループディスカッション対策講座」
	11月	特別集中講座「就活のためのビジネス日本語」
令和2年	2月	楽しい日本語の会連携授業 「日本の職場でのコミュニケーションの課題を改善する」
	9月	楽しい日本語の会連携授業 「自分を出せる！グループディスカッション対策講座」
	10月	☐ 参加 神奈川県敬語講座「事例で学ぶ：就活で役に立つ敬語表現」
	11月	特別集中講座「日本語での情報収集・情報共有スキルを身につけよう」
令和3年	1月	☐ 参加 神奈川県敬語講座「事例で学ぶ：就活で役に立つ敬語表現」
	1月	☐ 参加 神奈川県敬語基礎講座「就活に使える自己PRを作る」
	2月	楽しい日本語の会連携授業「日本の職場のビジネスコミュニケーション講座」
	6月	「自分を出せる！グループディスカッション対策講座」
	8月	「日本語能力試験（JLPT）N1 試験対策講座」
	9月	☐ 参加 神奈川県「日本語上級者のための敬語講座」
令和4年	11月	特別集中講義「日本語での情報収集・情報共有スキルを身につけよう」
	1月	☐ 参加 神奈川県「日本語上級者のための敬語講座」
令和4年	2月	楽しい日本語の会連携授業「日本の職場のビジネスコミュニケーション講座」



平成31年2月
日本の職場でのコミュニケーションの課題を改善する



令和元年7月
グループディスカッション対策講座



令和3年9月
(神奈川県) 日本語上級者のための敬語講座

キャリア教育プログラム

Career Education Program

プログラム 開始前

- 春学期・秋学期 各1回のオリエンテーション

プログラム 実施後

- 横浜市立大学** 正課科目の新設（横浜市内大学間単位互換制度科目）
— 日本人学生とともに、横浜市内企業の事業課題を解決する課題解決型講義を新規開講
- 留学生のための日本のインターンシップ準備講座の開講（春学期各5コマ連続）
- 留学生のための日本の就活準備講座の開講（秋学期各5コマ連続。日本企業との座談会も実施）
- 留学生と日本人学生によるオンライン交流会の実施
- 合同企業説明会の新設（年2回：留学生と日本人学生が参加対象）

これまでに実施した講座等

就活支援セミナー

平成30年～令和3年 4・5・6月（5コマ連続）

留学生のための就活支援講座 — 春学期：インターンシップ準備編

平成30年～令和3年 10・11・12月（5コマ連続）

留学生のための就活支援講座 — 秋学期：日本の就活準備編

ゲスト企業 株式会社アイネット、株式会社アルプス技研、株式会社コーエーテクモホールディングス、株式会社ファンケル 等

正課科目

キャリア形成実習（横浜の産業と企業理解）※日本人学生との共修講義

令和元年 9月 協力 株式会社日新、株式会社横浜ブランドインターコンチネンタルホテル、公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）

令和2年 9月 協力 株式会社大川印刷、ヨコハマ SDGs デザインセンター、横浜市政策局大学調整課

令和3年 9月 協力 IKEA 港北店、ヨコハマ SDGs デザインセンター

自治体主催講座への参加

平成30年～令和3年 神奈川県主催 各種留学生就職支援講座

合同企業セミナー

平成31年 3月 外国人留学生合同企業説明会（横浜市政策局大学調整課共同企画）

令和3年 2月 グローバルキャリア研究フェア Winter

令和3年 6月 グローバルキャリア研究フェア Summer

令和4年 2月 グローバルキャリアフェア Winter

ランチ交流会の実施（就活相談会、日本人学生との交流会など）

令和2～3年 隔月開催



平成30年12月
留学生のための就活支援講座
(ゲスト企業とのワークショップ)



平成31年3月
外国人留学生のための合同企業説明会
(横浜市政策局大学調整課共同企画)



令和元年9月
正課科目 キャリア形成実習（横浜の産業と企業理解）

インターンシッププログラム

Internship Program

プログラム 開始前

- 日本人学生と同様のプログラム提供を実施

プログラム 実施後

- 留学生専用インターンシッププログラムの新設と推進
 - 横浜国立大学、横浜市立大学コーディネーターが自主開拓した企業とのインターンシップ実施
 - 横浜市政策局大学調整課紹介企業とのインターンシップ実施
 - コロナ禍におけるリモートインターンシップの新設
 - 英語話者向けインターンシップの新設
 - 日本人学生と共に学ぶインターンシップの新設
 - 神奈川県主催 留学生有償型インターンシップへの参加

インターンシップ参加学生数、受入企業数
ともに大幅増（裏表紙参照）

- 事前、事後研修の新設（ケース学習、マナー講座等）
- 企業への振り返りインタビュー実施
- 留学生への振り返り面談の実施

これまでに実施したインターンシップ

平成29年度～令和3年度

本プログラムオリジナル実習

（企業と横浜国立大学・横浜市立大学コーディネーターによる企画・進行）

実習
企業例

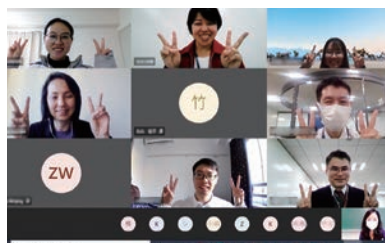
- 株式会社そごう・西武 そごう横浜店（令和3年1月）
 - 日本KFCホールディングス株式会社（令和2年11月・令和4年1月）
 - 株式会社ファンケル（令和元年9月）
 - 株式会社アイネット（令和2年12月～令和3年2月）
 - 株式会社スリーハイ（令和3年3月）
 - 株式会社トーコン（令和元年8月）等
- ※横浜市政策局大学調整課との共同運営のもと実施



令和元年9月
トーコン社インターンシップ



令和元年9月
ファンケル社インターンシップ



令和2年11月
日本KFCホールディングス社
リモートインターンシップ（横浜市連携）

平成30年度～平成31年度／令和元年度

神奈川県経営者協会主催 留学生インターンシップへの参加

実習
企業例

- 味の素株式会社川崎事業所（平成30年・令和元年 夏季休業中）
- 神奈川中央交通株式会社（令和元年 夏季休業中）
- 京浜急行電鉄株式会社（平成30年・令和元年 夏季休業中）
- 日本発条株式会社（平成30年・令和元年 夏季休業中）
- 株式会社ホテル、ニューグランド（平成30年・令和元年 夏季休業中）等

平成29年度～平成31年度／令和元年度

実践企業成長戦略Ⅱ（横浜国立大学正課科目）での長期インターン実習

実習
企業例

- 公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）（平成30年 夏季休業中）
- 株式会社クルーパー（平成30年 夏季休業中）等

令和3年度

神奈川県主催留学生有償型
インターンシップへの参加

神奈川県内企業等による受入
（令和4年 2～3月）



令和3年1月
そごう横浜店リモートインターンシップ（横浜市連携）



令和3年度
神奈川県留学生有償型インターンシップ

プログラム参加学生の声

謝 林生

（シャ リンセイ）

横浜国立大学大学院 理工学府
（2022年3月 修了予定）
出身国：中国



株式会社SCREENホールディングス 内定

半導体材料と半導体製造装置の領域において、トップクラスの技術力を持つ日本で学びたいと思い、日本の大学院に進学しました。研究室では主に熱流体解析ソフトウェアを用いる原子層堆積装置内の移動現象の解析について研究しています。

半導体製造装置業界でのインターンシップでは、研究活動でも扱っているシミュレーション業務を体験し、研究と実務との違いを知ることができました。基礎知識不足と、日本語での意思疎通が不慣れだったこともあり、適切な「報・連・相」や論理的な説明をすることが難しかったです。このインターンシップを通して、限られた時間の中で、量より質を重視し、論理的に説明することの重要性を学びました。沢山の方々からご助力を頂いたお陰で、就職活動を順調に進めることができました。

プログラムで得た知識と経験を今後の研究や入社後の仕事に活かしていきたいです。

コーディネーターからひとこと

横浜国立大学 外国人留学生就職支援
コーディネーター 増田 克子

謝さんはプロセスエンジニアになるという夢をかなえるため、プログラムで就職活動の基礎を学びました。そして半導体製造装置協会の皆様のご協力を得て、難易度の高いインターンシップに挑戦することができました。今後は、業界最先端のプロセスエンジニアとして日本をリードしていってくれることを期待しています。

許 敏華

（キョ サトカ）

横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科
（2022年3月 修了予定）
出身国：中国



DXCテクノロジー・ジャパン株式会社 内定

子どもの頃から日本のアニメに興味があり、いつか日本に行こうと思っていました。母国の大学を卒業後、自分の能力・スキルを鍛えようと日本の大学院に進学することを決意しました。

留学生就職促進プログラムを通じて、敬語などのビジネス日本語、就職のための情報収集方法と企業の選考に関わる様々な知識（エントリーシートの書き方、適性テストの対応策、面接の対策など）を習得しました。本選考の時には、就職支援コーディネーターの方にエントリーシートと面接文の下書きをチェックしていただき、選考の通過率が上がりました。苦労の甲斐もあり、5つの企業から内々定をいただきました。事業の将来性や、自分のやりたいこと、社風など総合的に熟考し、クラウド事業に力を入れている外資系IT企業を就職先を選びました。まずはIT全般の知識を習得し、5年後にはチームリーダー、10年後にはマネジャーを目指して頑張りたいです。

コーディネーターからひとこと

横浜市立大学 外国人留学生就職支援
コーディネーター 河瀬 恵子

許さんの支援を通じて最も印象に残っているのは旺盛なチャレンジ精神です。自ら課題を設定し、解決に向け主体的に行動する姿は地元企業からも高い評価を得ました。また彼女の困難な物事に諦めない姿勢はキャリアの講義と一緒に学んだ日本人学生達にも良い刺激を与えました。今後の許さんの活躍を心から応援しています！

■ 卒業・修了者およびプログラム参加者の国内就職状況

	プログラム(横浜国立大学・横浜市立大学 合算)		
	国内就職者／卒業・修了者	内プログラム参加者	帰国者／卒業・修了者
平成29年度	110人／229人 (48.0%)	3人／3人 (100.0%)	52人／229人 (22.7%)
平成30年度	99人／270人 (36.7%)	29人／47人 (61.7%)	115人／270人 (42.5%)
平成31年度	103人／280人 (36.8%)	57人／91人 (62.6%)	105人／280人 (37.5%)
令和2年度	77人／298人 (25.8%)	56人／115人 (48.6%)	152人／298人 (51.0%)

■ プログラムによる講座等参加状況（のべ参加者）

	プログラム実施大学 横浜国立大学・横浜市立大学 合算	県内大学等	プログラム合計
平成29年度	226人	27人	253人
平成30年度	289人	52人	341人
平成31年度	535人	37人	572人
令和2年度	766人	118人	884人

■ インターンシップの県内展開

プログラム主催インターンシップを当初は、両大学の留学生を対象にしていたが、令和2年度からその他の大学に県内展開し、下記のとおり、参加実績がありました。

	横浜国立大学	横浜市立大学	関東学院大学	女子美術大学	専修大学	東京都市大学	計
平成29年度	10人						10人
平成30年度	30人	17人					47人
平成31年度	21人	16人					37人
令和2年度	27人	16人	2人	1人		1人	47人
令和3年度※	50人	23人	1人		2人	1人	77人

※ 令和3年度は、2022年2月までの実績

お問い合わせ先



横浜国立大学

外国人留学生就職支援デスク

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8

TEL : 045-339-3949

E-mail : kokusai-shushoku@ynu.ac.jp

http://www.ynu.ac.jp/



横浜市立大学

グローバル推進室 / キャリア支援センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

TEL : 045-787-2352

E-mail : ycugp7@yokohama-cu.ac.jp

https://www.yokohama-cu.ac.jp/